

# 真のグローバル・エクセレント・カンパニーを目指して

環境・安全対策を経営の最優先事項として、持続可能な社会の発展に貢献していくことが私たちの使命です。



東京エレクトロン株式会社  
代表取締役社長

東 尚 郎

## コミットメント

### 1.

東京エレクトロングループならではの価値を追求して、持続可能な社会に貢献します。

### 2.

人間尊重の理念のもと、人々の健康と安全を最優先し、地球環境の保全に配慮します。

### 3.

リーディングカンパニーのグローバルな責務として、環境面でも常に最先端の取り組みを目指します。

## オンリー・ワンの付加価値により 持続可能な社会の発展に貢献

東京エレクトロングループは、半導体産業、液晶産業の世界的発展を支えるべく、半導体、FPD製造装置などのサプライヤーとしての事業を行っています。1963年の創業以来、常に半導体産業の技術革新をリードし、現在では当社製品の多くが、グローバルマーケットでトップシェアを維持しています。情報・通信システムの技術革新がさらに進むなか、先進性と技術力で、これからもお客様の信頼と期待にお応えし、持続可能な社会の発展に貢献していくことが、我々の使命だと考えています。

## 環境・安全対策でも 世界の最先端に

同時に、真のグローバル・エクセレント・カンパニーとして、社内外から「東京エレクトロンでなくては」と思われる魅力ある会社を目指しています。その要件となるのは、創業以来の「人間尊重」の理念です。コーポレートメッセージ「People.Technology.Commitment.」の中では、人間尊重の一環として「人々の健康と安全を最優先し、地球環境の保全に配慮すること」を明示しています。

ハイテクやITの進展は、人類にかつてない可能性をもたらす一方、一歩間違えば地球環境に計り知れないダメージを与えてしまいます。また、急激に進行するグローバルな競争において、地球環境を悪化させる側面もあります。当社グループでは、こ

うした危険性を可能な限り避けるべく環境・安全対策に万全を期さねばなりません。

さらに地球環境や人々の健康・安全への配慮についても、業界のリーディングカンパニーとして、世界最先端のレベルが求められていると認識し、経営の最優先事項として環境・安全対策を強化していく方針です。

## グループで強化する 環境保全システム

当社グループは、製造拠点でのISO14001と、2001年度に新たに導入したオフィスでの環境マネジメントシステムに基づき、事業活動に伴う環境負荷を積極的に低減しています。

また、具体的な環境負荷低減目標を設定しながら、装置の省エネルギー・省スペース化や、薬液使用量の抑制など、お客様の厳しい要求水準を上回る製品の開発に取り組んでいます。1998年開設のプロセステクノロジーセンターでは、次世代の半導体技術に必要な研究の開発とともにクリーンテクノロジーを強化しています。



## さらに社会に貢献する 企業を目指して

企業の持続的発展と環境は、もはや切り離して考えられるものではありません。この数年、社会全体の環境への意識が高まり、社員の環境意識も急速に高まりました。さらに一人ひとりの意識向上を図り、地域社会に密着した環境配慮・社会貢献など、環境重視の姿勢を社内に浸透させてまいります。

また、環境対策には業界としての協力が不可欠です。環境方針でも謳っている通り、お客様と一体となって当社グループ製品の環境負荷を低減させる努力を続けるとともに、リーディングカンパニーならではの環境対策を打ち出していく所存です。特に、現在廃棄されている製品のリサイクルは、今後の重要な課題となっております。

本報告書では、東京エレクトロングループの2001年度環境保全活動の実績ならびに、将来的な活動の方向性をご紹介します。当社グループの取り組みをご理解いただき、忌憚のないご助言を頂戴できれば幸いです。今後もさらに環境情報の開示に努めながら、皆さまのお声を真摯に受けとめて、持続可能な社会に貢献できる企業を目指してまいります。

2002年10月

## 東京エレクトロングループの環境に関する基本理念 / 環境方針

### 基本理念

東京エレクトロングループは、地球環境を保全し、継続的に改善することが人類共通の最優先課題の一つであり、経営上最も配慮すべきことの一つであるとの認識に立ち、地球環境との調和を保った繁栄を実現することを常に念頭に置き、顧客・社会・株主・従業員から総合的に信頼され愛される企業の構築を目指して、環境保全活動を推進する。

### 環境方針

1. 当社グループ製品が顧客の事業運営に於いて少なからず環境負荷を与えていることを率直に認識し、顧客と一体となって当社グループ製品の環境負荷を低減させる為に、積極的に継続的に努力する。
2. 当社グループの事業運営に於ける環境影響要因と、その環境負荷を定量的に把握し、その低減に向けて積極的に継続的に努力する。
3. 環境関連法規・条約・協定等を遵守し、更に環境に関する各種要請を先取りして自主基準を制定し、地球環境保全を推進する。
4. 環境に関する基本理念・環境方針・環境保全推進状況を従業員に周知させ、意識向上を図ると共に、社外へも公表する。
5. 顧客・社会で実施・推進される環境保全活動に積極的に参画する。

平成10年9月25日  
東京エレクトロン株式会社  
代表取締役社長 東 哲郎



### 私のエコライフスタイル

「私にとって、自然に囲まれて過ごす時間はとても貴重なものです。自然の中にいると、元気になるし、人としての感覚が正常になります。日頃の緊張がほぐされ、視野も広がる気がします。別荘では薪割りなどもしますが、けっこう爽快です。そう考えると、これまで自然を破壊してきた私たち大人世代の責任は大きいと痛感します。子どもたちにとって将来もよい時代であってほしい。そのためには、私たち大人が今行動しなければならぬと考えています。」